

# 情報アラカルト

令和5年度 千葉県総合教育センター・千葉県子どもと親のサポートセンター

千葉県誕生150周年記念

## 研究発表会

### 千葉の子どもたちの未来のために

～新しい時代に求められる資質・能力の育成をめざして～



## 全体講演会

令和6年 2月16日(金)

10時～12時 受付9:30～

ハイブリッド式

(対面・ライブ配信)



会場：千葉県総合教育センター

オンデマンド  
動画配信

令和6年 2月27日(火)～3月22日(金)

**演題** 子どもたちも、教職員も、ウェルビーイングな学校づくり

**講師**

教育研究家  
一般社団法人ライフ&ワーク代表理事  
大阪キリスト教短期大学教育テック総研 副所長・客員教授

妹尾 昌俊 氏



## 研究発表

オンデマンド  
動画配信

令和6年 2月15日(木)～3月22日(金)

研究発表	担当
既存の教科と教科「理数」の相互発展に関する研究	カリキュラム開発部
「好ましい人間関係を育む学級づくり」に関する研究 ～「学級づくりガイドブック」再編集を通して～	カリキュラム開発部 研究開発班
小学校における自由研究(科学論文)の手引き作成に係る研究	カリキュラム開発部 科学技術教育班
全国学力・学習状況調査の活用推進に向けて	学力調査部
知的障害教育における学習評価から授業改善につなげるフレームワークに関する研究	特別支援教育部
教育支援センターの機能を生かした不登校支援の在り方について	子どもと親の サポートセンター

### ◆申込方法◆

- ・千葉県総合教育センターWEBサイトより御申し込みください。必要事項を入力すると、特設サイトの「ID」と「パスワード」が返信されます。
- ・特設サイトの開設期間は 令和6年2月1日～3月22日です。 ※資料は申込者各自がダウンロードできます。

◆申込期間◆ 令和5年12月20日(水)～

### ◆問合せ先◆

千葉県総合教育センターカリキュラム開発部  
〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13  
TEL 043-276-1274(直通)  
E-mail sosekaihatu2@chiba-c.ed.jp  
※「ID」と「パスワード」の返信がない場合は御連絡ください。

## 「令和5年度全国学力・学習状況調査」 結果の活用について

県総合教育センター学力調査部

### 1 「令和5年度全国学力・学習状況調査」 について

「令和5年度全国学力・学習状況調査」が、4月18日（火）に対象学年の児童生徒に対して実施された。今年度は、教科に関する調査として、国語、算数・数学、英語（中学校）の調査が、質問紙調査として、児童生徒及び学校を対象に生活習慣や学習環境等についての調査が実施された。

#### <教科に関する調査結果>

<小学校>	千葉県	全国
国語	67 (66)	67.2
算数	62 (62)	62.5
<中学校>	千葉県	全国
国語	69 (69)	69.8
数学	51 (50)	51.0
英語	46 (46)	45.6

※数値は公立学校の平均正答率（％）。ただし、文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、県平均正答率は小数点以下を四捨五入。※（ ）内は、千葉市を除いた割合を示す。※英語の調査結果については、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計を集計した数値である。

### 2 学校全体で分析し、指導改善を推進

県が活用を推進している4つの分析シートを校内研修等で学校全体で活用することで、自校の成果・課題を発見し、指導の充実・改善のヒントを得ることができる。

#### (1)教科・質問紙分析シート

全国、千葉県、自校の教科の結果がレーダーチャートで表示され、自校の状況について一目で捉えることができる。

#### (2)経年分析シート

全国と比較した自校の結果について、過去3回分の経年による分析ができる。

#### (3)クロス集計シート

生活習慣や学習習慣と学力の関係について、

相関関係のみられた設問から、自校の状況を捉えることができる。

#### (4)誤答分析シート

解答類型別に児童生徒の反応率をまとめた文部科学省のデータから、誤答への反応率が高い設問を選定後、誤答を分析し、改善方策を学校全体で協議することで指導改善につなげることができる。

### 3 指導改善サイクルの確立を目指して

#### (1)文部科学省発行の調査結果データ・報告書

調査結果は、地域に向けた情報発信、授業研究などにおける実態把握・根拠データとしての活用、個別最適な学びの実現に向けた活用など、様々な活用方法が考えられる。報告書は分析や指導改善に有効活用できる。

#### (2)全国学力・学習状況調査活用の手引き

学校内での立場別の取組例など、分析や活用の仕方を分かりやすく記載し、学校現場での授業改善や学校改善に役立つ内容としている。

#### (3)活用に係る動画コンテンツ

全国学力・学習状況調査の活用を一層充実させるため、動画コンテンツを作成し、県内教育関係者が視聴できるようにしている。（配信URLは市町村教育委員会を通じて連絡している。）

### 4 おわりに

全国学力・学習状況調査の結果を分析、活用して、各学校の状況に合わせた指導改善サイクルを確立し、学校全体で、授業改善を進めることで、児童生徒の学力向上につなげていただきたい。